

大雪被害者への 見舞金・支援金は

内田精彦 議員

町長 他町村の支援を参考に検討する



問 今回の大雪で、大雪対策本部が設置されたが、奥出雲町災害対策本部条例により設置したのか。また、大雪対策本部は解散したのか。

答 小倉総務課長
町内の各所でおよそ1月の積雪を確認されました1月27日に大雪対策本部を設置し、関係機関による連絡会議を開催し対策を検討しました。対策本部は条例に基づくものではなく、庁内会議を母体として設置しました。なお2月28日に対策本部は解散しました。

問 奥出雲町被災者生活再建支援金支給事業要綱災害復旧支援事業助成金交付要綱等に該当するの
か。

答 小倉総務課長
被害の程度により、条例要綱が定めてあり、今回の対象は住宅の半壊1件が見舞い金支給要綱に該当と思います。なお住宅については、県の災害支援関係の要綱があり、それに該当するか現地確認を依頼しています。該当になれば建物の再築に要する借入金の利子補給建物の除却等が対象になります。県の審査を受けながら被害者の皆様へ支援を考えています。

問 今回の被害者の方へ見舞い金、支援金は出さないのか。

答 被害が相当数出ており修復にどれだけの経費等のこともありますが、被害を受けられた方々のお気持ち等、自治会長を通じて確認をし、他町村の支援も参考に検討する。

問 ジョーホー奥出雲等により、町内各地の出来

事、話題が数多く発信されているが、町内の各自治会名を图示した管内図が出来ないのか。

答 出来るだけ早い段階で各世帯や集会所へ配布できるようにします。

問 平成23年2月20日に事業廃止となった田園倶楽部奥出雲の設立、認可補助申請に町はどのようなにかかわっているか。

答 糸原農業振興課長
高糖度トマト事業は、会社が計画されたもので、町は農場の建設に当って国の補助事業の導入に当り事業計画などの申請書類を県へ提出しました。

問 これまでの各種支援の内容は、(町単独事業)

答 糸原農業振興課長
高糖度トマト栽培技術指導として、200万円(京都府の農業生産法人と町が業務委託)企業参入促進として100万円です。

問 廃止後の後継業者の確保支援についての考え

答 かわってやっていた方々をいろいろ既にあ

たっています。あれだけの施設を放っておくことはあり得ないことだと思います。

問 田園倶楽部奥出雲の破綻の原因は、昨年の猛暑、今年の大雪、価格の低迷と言われておりますが、町長の発言にもありました、データ不足等で計画を下回った事があると思われま。当時井上町長ではありませんでした、現在田園倶楽部奥出雲が破綻したことを踏まえ、率直な感想は。

答 農業生産によって事業を展開していくことはほんとうに難しいことだと実感しています。建設業で農外参入して戴いているモーグの事業主の皆さんも農業で安定的なも